

情 報 局 編 輯

週 報

昭和十二年九月十三日 第三千七百九十二号
本報は毎週一冊 本埠日發行

勝を決するの機 方に今日に在り

隣組・職場●必ず回覧を

五錢

臨時議會と決戦施策

ドイツを繞る歐洲諸國の動向

ダイヤモンド

九月三十日 號
4 1 2 號



情 報 局 編 輯

週 報

昭和十一年九月十三日 星期一
第 一 〇 〇 〇 號
本 報 日 報 行

勝を決するの機 方に今日に在り

隣組・戦場●必ず回覧を

五 銭

臨時議會と決戦策

ドイツを繞る歐洲諸國の動向

ダイヤモンド

九 月 十 三 日 號
4 1 2 號

週言

今を去る滿十三年前の九月十五日、國際聯盟の反對を押し切つて滿洲國を承認した前後の気分は緊張したものであつた。米英佛三國が束になつて我にかゝつて来るかもしれぬ、その時はこれを一手に引受けてやつつけてやらうといふわけだ。乗物にのつても、店へ入つても、錢湯へいつても、床屋をのぞいても、町の人たちの心構へは大したものであつた。「米英佛の野郎其何をぬかすか。來たら一泡吹かせてやるぞ。滿洲はおいらの父つあん兄ちゃんやんが血を流したところだ。米英佛の奴等に勝手にさせてたまるか」といふ聲は至るところに充ちた。

米英を相手にして決戦するといふことは、この時から決つてゐた。そして我々はこの時すでにこれを覺悟してゐたのである。

今とは比べものにならない貧弱な軍備をもつて、しかも他に敵のなかつた米英を相手にして、一戦を辭せずといふ気分は、國內に溢れたのである。

十三年経つた今日、いよゝ米英と本格的な一大決戦をなすの時は來たのである。我に地の利がある。戦備は着々として整へられてゐる。十三年前のあの氣分で、否、これよりもつと自信にみちた力強い覺悟をもつて、大和一致、敵を撃たうではないか。



臨時議會と決戦施策

長くも 天皇陛下におかせられては、九月七日、第八十五回帝國議會開院式に臨ませられ、重ねて優渥なる勅語を賜はつた。

敵ノ反抗愈々熾烈ニシテ戰局日々危急ヲ加フと深く憂念あらせられ、皇國カ其ノ總力ヲ擧ケテ勝ヲ決スルノ機方ニ今日ニ在リ卿等宜シク業ニ先ンシテ憤激ヲ新ニシテ團結ヲ鞏クシ奮テ敵國ヲ非望ヲ破碎シ以テ皇運ヲ無窮ニ扶翼スヘシと宣はせられたのである。聖慮の深遠なる洵に感激に堪へざるところである。

國民代表の府たる帝國議會の議員に賜はつたこの勅語は、取りも直さず國民全體に賜はつたものといふべく、我等一億の臣草薙が憤激を新たにせざる者があらうか。我々は内に深

く省み、拳々服膺して聖旨を奉行し、各がその職務を精勵遂行し、速かに戦勝の一路に總突撃の實を擧げ、以て宸襟を安んじ奉ることを固く期するものである。

かゝる優渥なる勅語を拜し、議會の感激またひとしほ、決戦下國家の總力を最高度に發揮すべき諸方策につき眞摯なる審議を展開すると共に、開會劈頭における小磯内閣總理大臣の演説をはじめ、質疑應答を通じて、決戦に處する政府の決意は表明され、施策の内容は明示された。

國政運営、戦争完遂に、歸一

まづ小磯内閣總理大臣はその演説において、私は今、皇國の興廢を決すべき重大時局の關頭に立ち、皇祖皇宗の神靈のまにまに世界に比類なき皇國體を護持し、光輝ある終

久の歴史を感、顯揚すべきは正に今日に在ることを願ひ、一億同胞と共に堅固なる必勝の信念を保持して、大和一致、總力を結集し、近き断乎米英擊滅の勢に出でんとする第一線軍の壯闘に策應して、國務の運営を飽く迄も戦争目的の完遂に吻合せしめたい」と國務運営の態度と戦争遂行に關する決意を披露し、この危局を打開せんがためには、國政運営の根本を大東亞戦争の目的完遂に歸せしめ、文武相應し、統帥と國務との密接なる吻合を圖ることに、強力なる戦争指導に萬遺憾なきを期すべくも亦當然である。これ先般最高戰争指導會議が設置されるに至つた所以であつて、今後における國政の運営はこの會議において、統帥と國務の綜合せられたる上にその根本の方針を決定し、萬般の施策これに基づいて決戦的展開を圖ることと相成つたのである。

と、決戦策の決定するに至る経緯を説明したことは注目されねばならない。次いで總理は當面の戦局に即應する決戦策として、六つの重要項目を取上げ、それらについて所信を述べ、且つ政府の方針を明らかにしたが、その要旨は次ぎの如きものである。第一、戰意の昂揚と必勝國家態勢、戰意の昂揚には徹底せる國體觀念の振作を基調とせねばならぬ。如何なる苦難をも突破して、萬邦無比の國體を維持せんとする灼鐵の如き決心は、即ち必勝信念の源泉であつて、鞏固なる國體觀念こそは、取りも直さず最も偉大なる力である。

しかも戰意の昂揚は、一面、また民意の暢達なくしてこれを期することは不可能である。政府は決戦段階に臨むに際し、内外の實情を普く國民に周知せしめ、戦争に對する共同の責任感を振起せしめて、憂國の至情を傾つと共に、深く國民の忠誠心に信頼して、その公正なる言論に聴き、一億同胞、國難に赴くの風あらしめたい所存である。

一切を擧げて天壤無窮の皇運を扶掖し奉るといふことは、一億同胞にとつては悠久幾千年來の信仰であつて、一億國民の血となり、肉となつてあるところである。この大神の發するところの萬古を貫く國民的氣魄となり、外敵の思想謀略を粉碎し、内敵私奉公の底力となり、磐石の國內態勢となるのである。必勝國家態勢の確立上、實施すべき諸策は固より多々あるが、要は新奇を衒はず、舊套に泥まず、一意生産を阻害しつゝある隘路を開くため、有效適切な措置は躊躇なく斷行し、かくして人心を一新して同胞の全體的協力を求め、更に國民道義の振作に一段の留意を致したい。

利を展開するの鍵鑰は、實にこゝに存するのであり、軍需生産に従事する同胞の發憤を要する、今日より大なるはない。

臨時軍事費と食糧増産の追加豫算

一、臨時軍事費

今度の八十五臨時議會で定めたのは、二百五十億圓である。これに十九年春の八十四臨時議會の分、三百八十億圓を加へると、合計、六百三十億圓、▲昭和十二年に陸軍費創設以來の總計千三百七十一億二千八百萬圓の巨額に達する。今度の二百五十億圓の追加額の歳入財源は、

借入金	百八十二億圓
公債金	五十億圓
雑収入	十六億二千二百二十二萬二千餘圓

である。借入金とは軍の現地支出の一部に充當するため南方開發金庫等よりの借入をなすもので、この借入金はこれを加へると現在までに三百三十億圓に達し、其発給の財政密與の實を示してゐる。

二、食糧増産追加豫算

万圓の新規公債が發行される豫定となつたから、十九年度における公債發行豫定總額は、從來決定してゐた分を合せると、三百三十七億三千八百三十三萬三千餘圓であつて、國民の公債消化並びに貯蓄増強に一段の奮闘が要請される。

今度の八十五議會に提出された昭和十九年度歳入歳出豫算追加は、三億八千五百四十四萬四千圓で、歳出についてみると、
經常部 (大藏省等) 六萬二千餘圓を除き
臨時部 三億八千五百三十八萬一千餘圓

は主として食糧及び薪炭増産に關する經費である。この内訳は、

食糧緊急増産費 三億六千九百九十四萬四千圓
耕地改良及擴張費 一億二千九百九十九萬圓
薪炭緊急増産費 一億九千九百九十九萬圓
農産物運搬費 一億九千九百九十九萬圓
農産物貯蔵費 一億九千九百九十九萬圓
農産物加工費 一億九千九百九十九萬圓
食糧配給統制費の増加 二百二十六萬五千圓

乃ち諸施策の重點をこゝに置き、人も物も金も、一切を擧げてこれが急速具現に努力いたしてゐるのであつて、當面の

薪炭緊急増産費

六千五百二十四萬七千餘圓
早害対策費 千九百六十三萬餘圓

このほか、豫算外國庫の負債となるべき契約に關する件

計

一、食糧及び薪炭増産確保措置費 五億圓
二、耕地改良及び擴張に關する經費 一億二千九百九十九萬圓
三、薪炭緊急増産費 一億九千九百九十九萬圓
四、農産物運搬費 一億九千九百九十九萬圓
五、農産物貯蔵費 一億九千九百九十九萬圓
六、農産物加工費 一億九千九百九十九萬圓
七、食糧配給統制費の増加 二百二十六萬五千圓
計 七億六千三百五十二萬八千餘圓となり、前年度の三百六十三億圓の二倍以上となり、豫算の面からも時局の重大性が汲みとられる。

決戦に有効に戦力化し得ざるが如き諸施設並びに産業活動は、これを停止して、重點産業に指向することが絶対の要求と信じ、過般来すでに着々必要の措置を採用してゐる。

戦力の増強、特に航空戦力増強のためには、軍需物資の増産を必要とすること勿論なると共に、海陸輸送力の確保もまた緊要なる要件である。政府は極力陸路を排除して、これらの向上対策に萬全を期する所存である。

第三 食糧増産と國民生活の安定 戦争遂行間、國民生活の最低限度を保證いたすことの緊要なるは申すまでもない。

政府としては、なし得る限りの事態の改善を期し、極力、民生の安定向上に努力し、戦時生活の根本をなす國民思想を明朗化するの必要を認めてゐる。

政府は乃ち組閣直後、東京、大阪等、大消費都市に對する應急食糧対策を講じ、特に生鮮食糧の生産、出荷、配給に關し、價格政策等に變更を行ふ等、臨時措置を實施したのである。

隨つて國內の食糧生産並びに日滿一體化より生ずる食糧の絶対分量を觀るに、概ね戦時生活運営のためには憂慮の必要はないのである。

第四 勞務と國民動員 この重大時局に直面して、老若男女を問はず、國內に一人の遊休者、一人の傍觀者も存在するとは許されぬ。一億が總員勝利への戦闘配置に就き、精魂を傾けて、自己に課せられたる使命に邁進することが、即ち

學技術運用の一體化を具現し、且つ戦局に即應する日本の科學技術の即時戦力化と、決戦兵器の迅速増産なる多量生産とを圖るため、特殊の機構を設けたほか、民間における新兵器等に關する創意考案を奨励し、これを右機構に反映注入するの措置を講ずることとしたのである。これによつて全日本の科學技術は急速に戦力化され、科學技術的にも、同胞全般の技術が戦争に協力するの態勢も完璧となつた次第であつて、その結果に對し大なる期待を有するものである。

戦時外交方針と東印度獨立

次に小磯總理は、皇國の戦時外交について、盟邦ドイツとの提携を益々緊密化し、大東亞における與國と協力一致、その總力を擧げて戦争の遂行に邁進いたすと共に、中立各國に對しては、今後とも友好關係の保持に努めんとするものであると大方針を闡明した。

盟邦ドイツを激勵し、滿洲國、中華民國、タイ國、ビルマ國、フィリピン國、自由印度假政府との友好關係を強調した後、總理は東印度について、

「帝國は昨年、原住民の急進に基づき、その政治參與に關する措置を執つて參つたのであるが、この間、これら各地の原住民は、寧ろ帝國の眞意を解し、終始一貫、大東亞戦争完遂のため、多大

人事を盡して神助を俟つ所以である。企業家も、會社員も、技師も、工員も、農民も、漁夫も、齊しく産業戦士として、國民皆兵の精神に則り、赤紙によらざる應召者の心構へを以て、各、その職域奉公に全力を盡し、最高能率を發揮してこそ、はじめて彈雨の間に死生を賭する將兵と呼應して、皇國臣民たるの名を恥かしめぬものである。

政府は徵用制度並びに勞力分配管理等につき檢討を加へ、これが調整改善を圖ると共に、あらゆる方策を講じて國家動員力、動員を徹底せしめる所存である。

第五 國土防衛の強化 重要産業施設の防護並びに重要都市の防空防衛を徹底徹底することは目下の急務であつて、鋭く創意工夫を凝らして、實情に即應する防衛態勢を急速に確立することが肝要である。既に都市疎開等も着々整備實行を見つゝあるほか、空襲時における都市住民の應急生活確保、防空組織並びに防空訓練の強化についても、いづれも周密なる計畫の下に、實施に遺憾なきを期してゐる次第である。

右のほか、國土防衛に努めねばならぬことはもちろんであつて、政府は先般國民總武裝の必要なる所以を明らかにし、國內警備態勢強化の具體の方策を決定し、これが實施に遺憾なきを期してゐる次第である。

第六 科學技術の動員活用 戦争は今や全く科學戰の様相を呈するに至つた。よつて政府はこの際、陸海軍における科

の努力を續けて參つたのであつて、現地軍政に對する協力亦誠に見るべきものがある。この實狀に鑑み、帝國は東印度永遠の福祉を確保するため、將來その獨立を認めんとするものなることを、茲に聲明するものである。

と、中外に宣言し、多大の反響を呼んだのである。かくの如く、帝國政府としては大東亞地域に對する從來の政策を將來に向つて堅持するは勿論、今後ますます大東亞共同宣言の精神を強力に展開して、大東亞諸國家、諸民族の信頼に應へんことを期する旨の大方針を明示し、「皇國を中核とする大東亞が、堅固なる必勝信念の下、いよいよ一致結束を固くし、物心兩面に亘る一切の總力を結集し、大東亞復興の聖戰に邁進するとき、必ずや米英の野望を粉碎し、以て萬古不滅の皇國の世界理念を悠久に顯揚し得ることを確信する」旨、確乎たる所信を披瀝した。

敵撃滅の好機あり

以上の如く議會劈頭において小磯總理は、一億同胞と共に決戦に邁進すべき政府の所信を披瀝し、陸海軍大臣もまた議會における戦況報告において、戦局の實相を率直に述べ、必勝の信念とその方策を闡明した。即ち、杉山陸軍大臣は、「今や敵は人的損耗の累加、戦線の擴大、補給線の延長等、

る繞をツイド 向動の國諸洲歐

トルコの屈服以來、バルカン諸國の動搖は俄かに表面に現はれた。その第一がルーマニアである。

赤軍が舊ルーマニアのベッサラビアに侵入し、ルーマニア本國との境界をなすブルート河畔に達するや、四月二日、ソ聯外務人民委員モロトフは聲明を發表して、ソ聯政府はルーマニアに對しては領土的野心なく、またルーマニア現在の社會組織を變更する目的もない。赤軍のルーマニア侵入は全く軍事的必要に基づくものである。

と述べ、ルーマニアに對するソ聯の態度を明瞭にした。この聲明はルーマニアの戦線離脱を狙ひ、併せてソ聯の歐洲に對する真意についての米英の疑惑解消を狙つたものである。

ルーマニア謀略に敗る

米英軍の北佛上陸作戦、これに次ぐ南佛戦線の設定、さらに東部戦線における赤軍の夏季攻勢と相俟つて、歐洲の戦局は正に決戦段階に入った観がある。

ドイツはこの新局面に印應して未嘗有の機動員を行ひ、決戦に違軍なきを期し、やがて西に東に反撃に出でんとしつゝある。

しかして四月二十日には、ソ聯の停戦條件がルーマニアに對して示されたが、アントネスコ首相兼總軍司令官はこれを拒絶したことが、最近に至つて明らかとなつた。

もつとも四月以來、ソ聯軍のルーマニア攻撃は停止されてをり、表面的には大きな動きはなかつたが、ドイツとしては米空軍のルーマニア空爆の激化、ドイツ戦況の一時的不利は、ルーマニアの動搖を大ならしめてゐたことも知つてゐたし、殊に王室の側近者スチルベイの暗躍は周知のことであつたので、警戒はしてゐたのである。

ルーマニアの天然石油の供給は、獨軍に對し大きな貢獻をなすものであつて、ドイツとしてはあくまでルーマニアを防衛したい希望であつたと察せられる。

しかしながら、米内海軍大臣が特に強調された次ぎの一點を我々は忘れることはできない。

第一線に存分の航空機を

と毅然たる帝國海軍の自信を表明したのであつた。

「抑、京を以て衆を破るは古來、日本兵法の妙義であつて、帝國海軍の苦心もまたこの點に在つた。彼我物心兩面の長短を重視し、また敵の包圍する困難弱點を突破する時、帝國海軍としては、今後の作戦において、なほ各種の打つべき必勝方策あるを確信するものである。」

と確信を披瀝すれば、米内海軍大臣は「本年初頭以降の戦局の概観は、各方面とも局部的には非常なる戦果を擧げて來たにもが、はらず、大局的には遺憾ながら不振の現状にありと申すべく、しかも今後は一層の難局を豫期せねばならぬ情況にあると思ふ」と戦局の實相を率直に吐露した上、

「我々を以て衆を破るは古來、日本兵法の妙義であつて、帝國海軍の苦心もまたこの點に在つた。彼我物心兩面の長短を重視し、また敵の包圍する困難弱點を突破する時、帝國海軍としては、今後の作戦において、なほ各種の打つべき必勝方策あるを確信するものである。」

「……今日の戦局においては海上、陸上の別を問はず、制空權獲得が作戦實施の必須條件であり、これなくしては航空機そのものは固より、如何に精強なる戦艦も、優秀なる機械化部隊も、その活躍を期待できぬことは、日々の戦況が明示するところである。新鋭航空機の急速充實を要求せられる所以は實にこゝにある。今や海軍航空部隊は連綿不斷、晝夜を分かたず、敵艦隊に奮戦中であるが、昨今戦局の激化に伴ひ戦間による航空機の消耗率は次第に大となり、また故障等も豫想以上に多數に上つてゐる。私は一億國民諸君の御協力により、第一線部隊にその要望通りの航空機を送り、思ふ存分活躍せしめたいとの企願で一杯である。」

皇國の總力を擧げ勝を決するの機方に今日に在り畏れ多くもかく御垂示あらせられたのである。そして今次の臨時議會を通じて、帝國の壽ふところ、またこの決戦に處する諸政策も明確にされ、軍官民一體となつて着々と具體化されつゝある。要はこれ等の政策が如何に急速に且つ如何に強力に實現せられるかに繫つてゐるのであつて、一億國民の眞の憤激發奮と果敢なる實踐とが今日ほど切實に要請されてゐるときはないのである。

ところが、ルーマニア國王ミハエル
第一世は八月二十三日、首相アントネ
スコ元帥を退け、同日夜ルーマニアは
米英ソの休戦条件を受諾し、ルーマニ
ア國民は反枢軸側と協力して、ウイー
ン協定において不法に強要された國境
を突破するとの布告を發し、寢返りを
打つたのである。

新内閣は、實戦の経験なき官廷將軍
チナテスコ侍從武官長を首相とし、舊
政黨の黨首を加へたものである。
ミハエル國王の降伏布告と同時に、
同國鐵衛團長ホリア・シマによつて直
ちに別に新政府の組織をみた。親獨の
軍隊もゐるが、全體としてルーマニア
軍は全く戰意を失ひ、自然解體の状況
にあると傳へられ、同國の情勢は目下
のところ混沌たる有様である。

ブルガリア離脱す

ブルガリアは、ソ聯に對しては中立
を守り、米英に對しては宣戰を布告し

てはゐるが、直接に干戈を交へたこと
はない。たゞ米空軍により猛烈な空爆
を被つてゐる。

ソ聯は五月、ブルガリアがその中立
義務を完全に守つてゐないとの理由
で、最後通牒的中入れを行ひ、ボジロ
フ内閣は遂に辭職を餘儀なくされ、新
たにバグリアノフが内閣を組織した。

しかしながら、その對ソ讓歩にもか
かはらず、ソ聯からは冷淡に取扱はれ、
米軍の空爆は強化される一方、ドイツ
の軍事状況は不利であるため、何とか
して戦争の危険を免れ、且つ平和を獲
得したいと秘かに希望してゐたやうで
ある。

ブルガリア政府は八月十七日、特別
議會を召集して、バグリアノフ首相は
「現政府は、ブルガリアの如き小國は今大
の大戦に介入しないことが、國民の運命的
大多數の意志であると認める」と断つて
樞軸離脱の方針を明らかにした。
ドラゴノフ外相は二十二日バグリ

ヤノフの演説を敷衍して、ブルガリア
は自己の意志に基づかずに参加した三
國協定を過大に評價して、米英に對し
宣戰したものであつて、米英との間に
は抽象的戦争状態にあるのみなること
は、米英も諒解してくれるだらうとい
つて、その樞軸離脱の意向をいよゝゝ
明らかにした。

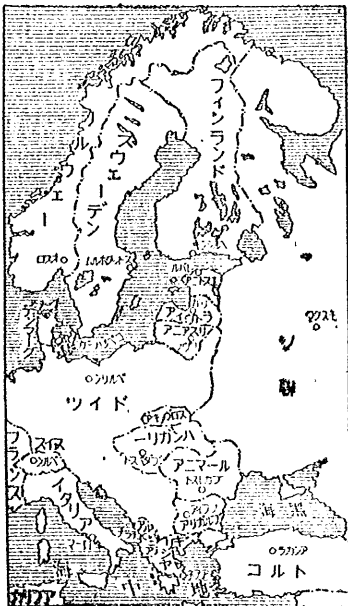
次いでブルガリア政府は二十五日、
緊急閣議を開き、翌二十六日、遂に戰
線離脱の聲明を發表し、同國に駐在し
てゐる獨軍の退却をドイツ側に要求し
たのである。

しかるにソ聯政府また、ブルガリア
の中立宣言は現下の情勢下においては
全然不十分なりと宣言し、その間バグ
リアノフ内閣は、九月一日遂に瓦解
し、ムラヴィヨフ内閣がこれに次いだ
が、突如として五日、ソ聯はブルガリ
アに對し宣戰を布告した。その理由は、
ブルガリアは、中立の名の下に、對獨援
助を行つてゐるといふにある。

かくて樞軸離脱を試みたブルガリア
は、今やソ聯に宣戰せられるに至り、
ムラヴィヨフ内閣はとりあへずソ聯に
休戰を申入れた模様である。ブルガリ
アは米英とソ聯のバルカンにおける
政策の喰違ひを利用することにより、
戰禍を免れ、中立に復歸し
ようとしたものであるが、
かへつて赤軍を自國內に招
く結果となつたのである。
赤軍は既に同國內に侵入し
たとの報道も傳へられてゐ
る。

屈服せるフィンランド

フィンランドは戦争のために國力も
漸く疲弊し、戦争遂行が困難になつた
ため、リューネ前大統領の承認のもと
に本年三月、ソ聯政府と和平交渉を行
つたが、結局、ソ聯の條件を拒絶する
こととなり、一方、リップントロップ



獨外相は六月下旬フィンランドに赴
き、獨芬軍事協定を取結んだ。
その後、八月月上旬に至り、突如フィ
ンランド大統領の更迭が行はれ、マン
ネルハイム元帥がリューネの後を襲う
て新たに大統領に就任し、内閣も改選

したのである。この交渉は八月下旬、
スウェーデン駐在のソ聯大使を通じて
行はれた。大統領及び内閣の更迭は、
さきにリューネ大統領がドイツと取結
んだ獨芬軍事協定はリューネ前大統領
個人のもので、その更迭により右協定
は反古となつたといふ強辯
を行ふためであつた。
かくてルーマニア、ブルガ
リアに続き、フィンランドも
戦列から脱落したのである。

力戦するハンガリー

バルカン諸國が相ついで、
戦争の落伍者として反
樞軸側の軍門に降るときにあたり、獨
り毅然として踏みとどまり、盟邦とい
つと共に奮戦力闘しつゝあるのはハン
ガリーである。
赤軍のカルパト山脈到達は、ハンガ
リーに不安を喚起せしめたことは否め

され、ハクセルが首相となつた。
その後ドイツの戦況の不利もあり、
新政府の動向が注視されてゐるが、果
然、フィンランド政府は九月二日、國會
を召集して對獨斷交を決定、獨軍の撤
退を要求し、四日朝八時、ソ聯と停戰

ないが、これに對しドイツは三月十九日ハンガリーに進駐し、ヒトラー總統はハンガリー國攝政ホルデイと會見して、二十二日にはハンガリー内閣の更迭が斷行され、新内閣の首班にはストヤイ氏が就任して、全國に亘り不良分子を彈壓し、ユダヤ人の取締りを一層厳にした。ドイツもハンガリーの決意に對應して駐洪公使の更迭を行ひ、新公使に對し廣汎な特別權限を賦與した。

八月二十九日、國政的に弱力であり、また自身病弱であつたストヤイ氏に代り、東部戰線方面軍司令官ラカトス大將が後繼内閣を組織した。

新内閣のドイツとの關係については、なほ不明であるが、ハンガリーはミハエル第一世の布告にも明らかにされ、ルーマニアのトランシルヴァニア回復の野望に對しても、敢然これを粉砕せんとしてゐることは新内閣の聲明に徴するも明らかである。もしこのルーマニアが實力を用ひんとすれば、ハンガリーも實力を用ひてこれに應へるであらう。

反共と失地回復を國是とするハンガリーは、容易には屈服しないであらう。

ハンガリーのほかスロバキア及びクロアチアの兩國もドイツの盟邦として健闘を續けてゐる。

最後の勝利に 邁進するドイツ

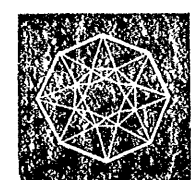
以上の如き政治情勢は、ドイツにとり極めて不利ではあるが、この秋に於てドイツ朝野の意氣旺盛にして、最後の勝利への半手たる信念に燃えつゝあることは、まことに頼もしいかぎりであるといはねばならない。

ドイツ總動員統監ゲッベルスは、未曾有の大動員を實行してゐる。七月二十日のヒトラー總統暗殺未遂事件により、かへつてドイツ國內の異分子は一掃せられ、ドイツ國家の危機を痛感するドイツ國民は、この新大動員に欣然として協力し、或ひは戰場に、或ひは軍需工場に挺身してゐる。彼等は獨軍がこゝで頭張り、近く出現を豫想される新兵器を用ひて、一舉に戰勝の鍵を握むことを確信してゐるのである。食糧事情も概して良好であり、何よりも國民の士氣極めて旺盛なりと傳へられてゐる。

われらは盟邦ドイツの健闘を信ずるとともに、この健闘が必ずや成功を以て酬いられることを切に祈るものである。

十四日	半途にして歸れば勇を失ひ未熟に復	安福良野
十五日	見る處にあらざる事なし、おる	松尾苗魚
十六日	此氣分のなすところなり	石田前藏
十七日	此氣分のなすところなり	蘇東坡
十八日	能く行ひば、國の寶なり	正岡子規
十九日	巧を求むるは、拙を露ふは、他人	佐藤一斎
二十日	一物を出して、一物を得る	

ドンモヤイダ



裝飾品から戦略物資へ
ダイヤモンド、すなはち金剛石といへば、誰もがすぐに貴婦人や令嬢の指を飾る燦然たる指輪を聯想するであらう。ダイヤモンドは高價な裝飾品であり、奢侈品の代表的なもの、およそ現下の職局とは縁遠いものだと思考へになるのが普通です。

ところがダイヤモンドは、最近ではその用途が一變して、航空機、電波兵器などの生産にな

は、ハンガリーも實力を用ひてこれに應へるであらう。

品名	硬度	備考
ダイヤモンド	10.0	ダイヤモンドに次いで、最も堅固な物質である。
超硬合金	9.6	これに各種の切削工具が用いられる。
サファイア	9.0	超硬合金に次いで、最も堅固な物質である。
ルビー	8.0	超硬合金に次いで、最も堅固な物質である。
水晶	7.0	超硬合金に次いで、最も堅固な物質である。
石英	6.0	超硬合金に次いで、最も堅固な物質である。
方解石	5.0	超硬合金に次いで、最も堅固な物質である。
石膏	4.0	超硬合金に次いで、最も堅固な物質である。
石	3.0	超硬合金に次いで、最も堅固な物質である。
滑石	1.0	超硬合金に次いで、最も堅固な物質である。

工具を取付けて仕事をやる機械を工作機械といひます。この工具のなかで、ダイヤモンドで造つたものがダイヤモンド・バイト、ダイヤモンド・ドリル、ダイヤモンド・ライスなどです。

ダイヤモンド・バイト

まづバイトについて説明しましょう。バイトは旋盤といふ工作機械に取付けて、鋼やチヤルミンを切つたり削つたりする工具、すなはち刃物です。旋盤とバイトはこの機械工場にいつでも一番多く使はれてゐるものです。

普通のバイトは高速鋼といふ特に切れ味のよい特殊鋼でつくられてゐますが、最近ではさきを示した表の中で、ダイヤモンドについて硬い超硬質合金といふ特殊の合金で、さらに切れ味のよい能率の高いバイトがつくられてゐます。

ところが、飛行機の發動機ピストンだとか、シリンドラ

連結といふやうな重要な部分には非常に精密な仕上げをせねばなりませんので、今いつた高速鋼や超硬質合金のバイトではまだ切れ味が不足で、ぜひとも切れ味のよい磨耗の少ないダイヤモンド・バイトを使用して優秀な製品をつくらねばなりません。

ダイヤモンド・ドリル

次に、ダイヤモンド・ドリルはどんなものかといひますと、最近飛行機の發動機にしましても、戦車、大砲にしましても、精密なものとなつてきて、その重要部分にはダイヤモンドで削つた後、研磨といふ工作機械にかけ、人造研削砥石で研磨して、精密に仕上げなければなりません。

ダイヤモンド・ライス

次に、ダイヤモンド・ライスはどこに使はれるでしょうか。電波兵器、無線電信機、ラジオなどの機構の心臓は、いふまでもなく真空管です。優秀な電波兵器を大量に製造するには、優秀な真空管を大量に製造せねばなりません。この真空管の生命は、その中に入つてゐるタングステンの極細繊維、すなはちファイラメントです。

使用して、線を引き伸ばして製造します。一體ダイヤモンドのやうに一番硬いものに、どうして孔をあけるかといひますと、都合のよいことにダイヤモンドには硬い性質のほかに、もろい性質がありますから、ダイヤモンドの粉末をつかつて、オリゾ油をつけて針でつゞくのです。

硬度計その他

このほか、ダイヤモンドは物の硬さを計る硬度計に使用されてゐます。硬度計は製鋼會社、機械工場、航空機工場で、鋼材やでき上つた製品の品質を調べるのに不可欠のものです。また各種の光學兵器に使用されるレンズの製造や、航空計器

時計などに多数使用されてゐる寶石軸承の製造、また、さきに出してきたダイヤモンド工具について切れ味の優秀な工具である超硬質合金工具の製造は、ダイヤモンドの粉末で研磨して仕上げたのです。

また戦力の源泉である鐵、鋼、鉛などの地下資源を開採するのには、黒ダイヤを先につけた試掘機で岩盤に孔をあけて、鐵鑽や銅鑽の存在を確かめてから仕事にかゝります。硬い岩盤に孔をあけるには、ダイヤモンドの中でも一番硬い黒ダイヤを使用します。

以上のように、航空機その他の兵器が發達するにつれて、これを製造する工作機械が精密なものとなり、精密な切削をする工具としてダイヤモンドの需要が急激に増加したわけです。

ところで産出されるのか、しがるにダイヤモンドの世界の産出状況はどうでしょうか。東

に相當産出し、現にどしどし採掘しつゝあるのですが、南アメリカのキンバリー、ブラジル、メキシコ、オーストラリア、北アメリカの東部諸州など、世界における産地の大半は敵米英の勢力範圍にありまして、アメリカは現在、大量のダイヤモンドを動員して航空機の製造に懸命になつてゐます。

従つて敵米英に勝つためには、南方のダイヤモンドだけでは不十分で、いさぐに戦力となる國內の裝飾用のものを悉く航空機、電波兵器の生産に動員する必要があります。

そこで軍需省では、去る八月十五日から向ふ三ヶ月間、全国一齊にダイヤモンドの買上を實施することになり、今までのところ豫期以上の好成績を挙げてゐます。

東京、神奈川、愛知、大阪、京都、兵庫、福岡の七都府縣では、交易警備指定の百貨店が營

國の代行店として、都府縣警備指導監督の下に、當時、店を開いて買上げてゐます。その他の道縣では、中央物資活用協會が巡回して買上げてゐます。

値段は品質その他で上下はありますが、標準価格は半カラット石七百円(カラット當り千四百円)、一カラット石二千円、二カラット石五千四百円(カラット當り二千七百円)、三カラット石九千九百円(カラット當り三千三百円)といふやうに、大きい石ほど割合が高くなり、裝飾品としての適當な値段で買上げてゐます。

ご存知だとは思ひますが、一カラット石は、〇ニグラムで、直徑がねん二の二分一厘、だいたい小豆大のものです。ご持参の品は、軍需省の指定した優秀な鍊金師がその場で鑑定の上、現金で支拂ひます。ダイヤモンドと共に指輪、ブローチなどの附屬裝飾品が附いてゐる場合はこれも一緒に買上げます。

また、他の寶石、例へばルビーやサファイア等も買上げます。

なほ、買上は必ず百貨店内に持参していただくに買上げることになつてゐます。皆さんの家庭に勸奨員がまゐりますが、この人たちはたゞ勸奨するだけで、決して家庭では買はないことになつてをり、もしも家庭で買取らうとする者があれば、それは悪ブローカーなので、家庭では決して買らないで、必ず指定の百貨店に持参して下さい。

今まで贅澤品の汚名をきせられて、簞笥の奥に肩身の狭い屈ひをしてゐたダイヤモンドが、風爽と生産の第一線に應召するべき時がきたのです。

ダイヤモンドを持つてゐる方は一人残らず進んで供出し、こそ兵器増産のお役に立て、偉い敵米英を撃たうではありませんか。

(軍需省)

